

- 主 催 一般社団法人富山新庄スポーツクラブ  
 特 別 協 賛 ネットヨタ富山株式会社  
 主 管 富山新庄クラブ  
 共 催 公益社団法人富山県サッカー協会 グラスルーツ委員会

1. 会 場 富山県総合運動公園陸上競技場（メインピッチ）

2. 大会日程 **2026年 6月14日（日）：リーグ戦での交流戦** **※開会式、閉会式は全チーム参加**

- ・ 受付時間：8時15分～8時30分
- ・ 開会式：8時35分～8時45分
- 1試合目（9時 スタート）
- ・ 閉会式：11時00分（予定）

3. 参加チーム U-6（未就学児）：募集チーム **7チーム**

参加資格

- ・ 1チーム5名（選手登録は9名）までです。
- ・ 交流戦のため順位や勝敗は関係なく、サッカーを楽しむ機会として開催いたします。
- ・ 個人情報及び肖像権使用についての承諾については、申込み時にご同行者様の同意の上、お申込み下さい。

4. ゲーム方法 試合方法は、キッズサッカーフェスティバルのルールによる。

- ・ **試合時間 8分間（調整時間7分間） 試合球：3号球**
- ・ **※参加チーム数により、試合時間を8分間のランニングタイムといたします。**
- ・ **7チームによるリーグ戦**
- ・ 交流戦のため「順位・勝敗」は決定いたしません。

5. 参 加 賞 参加賞として登録選手分の『スターターキット』を受付時にお渡しします。

**【参加賞】 JFA「めざせクラッキ」スターターキット**



**【スターターセット】**

- ・ サッカー ボール（軽量3号球）
- ・ リュックサック（ボール用ポケット付き）
- ・ JFAチャレンジゲーム冊子

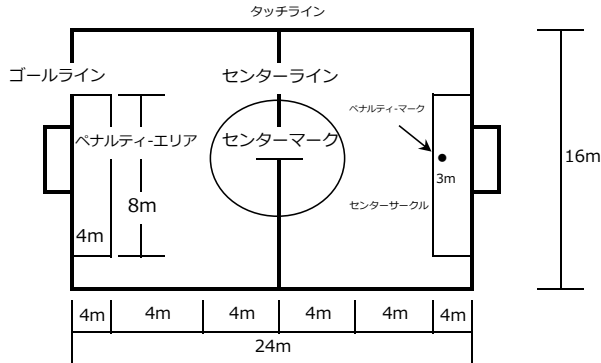
6. そ の 他 スポーツ傷害保険は、主催者側で加入いたします。競技中における傷害、その他の事故については応急処置を行い、その後の治療につきましても保険の補償範囲内にて対処いたします。

試合会場における負傷・疾病等について、救急病院として以下の医療機関を指定します。

特定医療法人財団 五省会

整形外科センター西能クリニック 住所：富山市高田7 1 番地1 電話番号：076-422-1551

- 1.競技者の人数 5名以内（内1名はゴールキーパー）、選手4名の場合は試合を開始するが、3名の場合は棄権とする。  
交代は無制限 ただし、ピッチ中の人数は5名
- 2.競技者の用具 スタッドの無いゴム底の運動靴（スパイク禁止）  
ゴールキーパーは他の競技者と区別がつくようにする（本部にてビブスを貸し出しいたします）  
帽子を着帽してプレーすることは可能
- 3.競技時間 『8分間』のランニングタイムとする
- 4.ボール 3号ボール
- 5.審判 1人制（主審1人でゲームコントロールする）【主審：富山新庄クラブ】
- 6.コート コートは24m×16mとしタッチラインを2分割した地点にセンターラインを設け、センターサークルの半径を4m、ペナルティーマークを3mとし、ペナルティエリアを設ける。（ゴールキーパーが手でプレイできるエリア）



- 7.競技の開始 前後半の開始および得点のあった後は、キックオフで競技が開始される。  
キックオフのとき相手選手はセンターサークル内に入ってはならない。
- 8.スローイン 両手で持って、頭の後ろから頭上を通して投げ入れること。  
タッチライン外にボールが出たとき、相手競技者のスローイン。
- 9.ゴールスロー 攻撃側の競技者によってゴールライン外にボールが出たとき。  
ゴールキーパーによりゴールスローを行い、相手競技者は攻撃側のペナルティ-エリアまで下がる。  
ゴールスローは片手で投げても良い。
- 10.コーナースロー 守備側の競技者によってゴールライン外にボールが出たとき。  
攻撃側のコーナースロー（コーナーからのスローイン）
- 11.不正・不法行為 以下の行為が意図的だと認められたとき、相手競技者にフリーキックを与える。
  - 1.キッキング 相手をけること。
  - 2.トリッピング 相手の足をひっかけること。
  - 3.プッシング 相手を押すこと。
  - 4.ストライキング 相手を打つこと、または殴ろうとすること。
  - 5.ホールディング 相手を捕まえ、ユニフォームを引っ張ること。または抱きつくこと。
  - 6.チャージング 乱暴な方法でぶつかったり、体当たりすること。
  - 7.ジャンピングアット 乱暴な方法で相手に跳びかかること。
  - 8.バックチャージ 相手の背後から危険な方法で妨害すること。
  - 9.ハンドリング ゴールキーパー以外の競技者が手でプレイすること。
  - 10.オブストラクション ボールをプレイしないで、相手を妨害すること。
  - 11.反スポーツ的行為 言葉によっていやな思いをさせること。

意図的でない不正・不法行為があった場合、注意をする。  
不正・不法な行為を促すような指示があった場合、指示をした人は退場。
- 12.フリーキック 上記不正・不法行為があった場合、その場所からフリーキックを相手競技者によって行う。  
また、ペナルティ-エリア内にて、不正・不法行為があった場合は、相手チームにペナルティ-キックが与えられ、直接得点することができる。その場合、ボールはペナルティ-マーク上に置かなければならない。
- 13.得点 完全にゴールマウスに入ったボールとする。但し、キックオフから打たれたシュート、スローインから放たれたボールはゴールキーパーに触れても得点としない。